

令和4年7月25日

教育委員会事務局 文化財課

担当：多知、安

内線：5626、5625

直 通 225-1844

## 国の文化財の登録について

令和4年7月22日（金）に開催された国の「文化審議会」（会長 さとう まこと 佐藤 信）において、文部科学大臣から諮問のあった別紙の文化財の登録が審議され、答申された。今回の答申どおり下記3件の建造物が登録されれば県内の国登録有形文化財（建造物）は288件となる。

## 記

きゅういしかわけんせんいかいかん  
・ 旧石川県繊維会館

たかけじゅうたくおもや  
・ 高家住宅主屋

たかけじゅうたくどぞう  
・ 高家住宅土蔵

きゅういしかわけんせんいかいかん  
旧石川県繊維会館

1. 所在地 金沢市西町三番丁 16 番地
2. 所有者 金沢市
3. 規模構造 鉄筋コンクリート造地上 3 階地下 1 階建、瓦葺、  
建築面積 525 m<sup>2</sup>
4. 建築年代 昭和 27 年(1952)/昭和 59 年(1984)改修
5. 概要

旧石川県繊維会館は金沢城北西の市街地に所在する。設計は金沢市出身の谷口吉郎(1904-1979)であり、昭和 27 年(1952) に竣工した。昭和 58 年(1983)に金沢市が取得し、昭和 60 年(1985)から中央公民館西町館、平成 14 年(2002)から西町教育研修館として使用されている。

当該建物は、全体として端正なデザインと上階の張り出し、戸室石張り等の地域性、照明に蛍光灯を多用した天井空間等が特徴的であり、谷口吉郎の戦後の作風をよく示す初期の作品として貴重である。



位置図



外観



内観（1F エントランスホール）

たかけじゅうたくおもや たかけじゅうたくどぞう  
高家住宅主屋・高家住宅土蔵

1. 所在地 小松市日用町寅<sup>ひょうまち</sup>71番地 他
2. 所有者 個人
3. 規模構造 ①高家住宅主屋：木造2階建、瓦葺、建築面積227㎡  
②高家住宅土蔵：木造2階建、瓦葺、建築面積69㎡
4. 建築年代 明治中期
5. 概要

高家住宅主屋及び土蔵は小松市日用町に所在する。日用町は古くから杉の産地であり、高家はかつて林業を営んでいた旧家である。住宅主屋及び土蔵は、ともに明治中期に建築され、主屋は手前に広間、奥に座敷と仏間等を置く加賀に多い形式の大型農家住宅であり、土蔵は2棟を一つの屋根が覆う珍しい構造となっている。

現在は「苔の里」としても注目されている日用町の歴史を伝える建物として貴重である。



位置図



高家住宅主屋 外観



高家住宅土蔵 外観